



4 P目のスラブ帯を登る

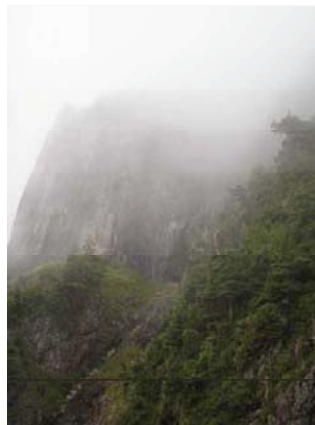


4 P目を終えると上部に烏帽子岩が大きく見えてきた

このまま、北沢を詰めると、烏帽子岩に簡単に達することができそうである。
ルートは、左のスラブ壁(Ⅱ～Ⅲ級程度)に取り、中央稜目指して適当に登った。



←5 P目 自由にラインのとれる壁、
残置ピトンなし
軽快に登るI. Oさん



←6 P目
最後は、這松のブッシュを避けて右に出ると、
視界が開け、右俣沢と大洞穴が見えてきた



7・8・9 P目
コンテは取らず、右俣沢上部から
大洞穴に向けロープを伸ばす
写真は9 P目→



大洞穴に10時到着。頂上アタックパーティと交信する。
洞穴の中を観察したり、次のルートを検討しながら、しばらく休息を取る。
洞穴はかなり濡れていた。写真に写る人の大きさから、大洞穴の大きさが
わかる

←10・11 P目

10時20分、これから核心部、覚悟を決めて濡れたクラックにカムをかませて
登攀を再開する。トップは空身で登り、松の木のところで一旦切り、荷揚げを
した